

JCS 評価・記録シート

Japan Coma Scale | 0～300の判定境界と記録を1枚で確認

判定フロー 必要となった刺激から段階的に判定		
STEP	確認	判定
1	刺激なしで覚醒している	0 / 1 / 2 / 3 を判定
2	普通の呼びかけで容易に開眼	JCS 10
3	大声または身体を揺さぶって開眼	JCS 20
4	痛み刺激＋呼びかけ反復で、かろうじて開眼	JCS 30
5	それでも開眼しない	100 / 200 / 300 を痛み刺激への運動反応で判定
2桁全体：刺激すると覚醒するが、刺激を止めると眠り込む。20と30は「必要となった刺激」で分ける。		

JCS 0～300 早見表		
JCS	区分	判定基準
0	意識清明	刺激なしで覚醒し、意識清明
1	1桁：刺激なしで覚醒	だいたい意識清明だが、今ひとつはっきりしない
2	1桁：刺激なしで覚醒	見当識障害がある
3	1桁：刺激なしで覚醒	自分の名前・生年月日が言えない
10	2桁：刺激すると覚醒	普通の呼びかけで容易に開眼する
20	2桁：刺激すると覚醒	大きな声または身体を揺さぶることにより開眼する
30	2桁：刺激すると覚醒	痛み刺激を加えつつ呼びかけを繰り返すと、かろうじて開眼する
100	3桁：刺激しても覚醒しない	痛み刺激に対し、払いのけるような動作をする
200	3桁：刺激しても覚醒しない	痛み刺激で少し手足を動かしたり、顔をしかめる
300	3桁：刺激しても覚醒しない	痛み刺激に反応しない

付記 R / I / A					
R	不穏	I	失禁	A	自発性喪失

記録欄 印刷して記入／ExcelではJCSとR/I/Aから表記を自動生成							
評価日時		体位・酸素条件				評価者	
JCS		R		I		A	
記録表記							
刺激条件・反応							
刺激停止後・左右差							
同時所見							
前回との差・対応							

安全上の注意：急な意識変化、呼吸・循環の不安定化、左右差・けいれん様動作などがある場合は、JCS採点の完遂より安全確認と速やかな共有を優先する。JCS単独でリハビリ実施可否を決めない。